

# 浜田圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
共地-2	鳥獣被害対策の推進プロジェクト	<p>○自衛可能集落育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害の影響で、予定していたモデル集落育成は難しくなったが、金城町宇栗地区が新たにモデル集落となった。</li> <li>・田橋横山地区では、様々な獣害対策が実施できている。</li> <li>・指導マニュアルを作成し、今後現場での活用に移る。</li> <li>・奨励作物の鳥獣害対策効果については一定の成果が得られた。</li> </ul> <p>○有害鳥獣密度低減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の効果により、免許取得は一定程度増加した。今後は新規取得者向けの実践講習会やモデル集落への免許取得の呼びかけなど、取り組みを広げる必要がある。</li> <li>・担い手育成講習会は、予想以上の参加が有り概ね好評であった。今後は狩猟者増につなげるため、実際の狩猟体験など継続的に狩猟の魅力を発信していく必要がある。</li> <li>・皮革利用は販売開始まで順調に進んでいる。</li> <li>・加工施設整備については方向性が決まったので、運営体制を決定する必要がある。</li> </ul>	モデル集落数(集落)	4	4	100%
			狩猟免許所持者数(人)	525	521	99%
浜田-1	サポート経営体を核とした地域を支えるしくみづくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金城サポート経営体は、町内の担い手との意見交換を踏まえ、関係機関で担い手との役割分担等を含めた事業概要をとりまとめ、今後、運営の核となる役員候補の人選、設立に向けた具体的検討を行う必要あり。</li> <li>・旭と三隅では、カバー候補の5集落において、サポート経営体を担い手(今後の農地の受け皿)に位置づけた人・農地プランを作成。引き続き、各地区におけるサポート経営体との連携について検討を重ねる。</li> <li>・経営多角化では、旭の「サンファームみのり」(以下「みのり」)が新たにトロボ箱栽培(6a)に取り組み、初年度目標の出荷量を達成。今後は労働時間の削減が課題。</li> </ul>	サポート経営体数(累計)	3	3	100%
			サポート経営体カバー集落数(集落農地の過半をカバーする目標の集落)(集落)	8	0	0%
			サポート経営体を担い手に位置づけた集落数(集落)	-	5	-
浜田-2	産直市を核とした絆づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産直市責任者(店長)及び営農コーディネーターも交えた合同会議は、目標達成に向けての意識統一ができたとともに、現状把握・問題点が明確になり、課題への取り組みが円滑に遂行できた。</li> <li>・販売情報管理システムが稼働し、リアルタイムで生産者への情報提供できる体制が整備できた。</li> <li>・産直協議会支部を3地域で設立(全地域に設立)し、出荷に関する品質管理委員会を設立(1支部)した。</li> <li>・販売情報管理システムを活用した会員情報データベースの構築に向けて取り組み始めた。</li> <li>・端境期出荷量を確保するために、重点品目を設定し、実証ほを設置した。</li> <li>・定期的な巡回指導と研修会参加農家の作付け、生育状況調査を行い、1品目の出荷状況を予測した。</li> <li>・加工品セミナーを開催し、衛生及び品質管理についての認識の向上が図られた。</li> <li>・産直協議会支部が独自で食品に関する研修会を企画・開催した。</li> <li>・生産者と生徒或いは給食関係者(調理員)との交流会を開催することにより、地元産農産物に対する理解が深まった。</li> <li>・7月～9月にかけての豪雨被害により、農産物の産直市への出荷量減少とこれからの作付計画の変更並びに作付面積の減少が予想されたが、前年対比を下回る月もあったが概ね前年を上回った。</li> </ul>	設置支部数(支部)	6	6	100%
			消費者モニター設置(延人数)	80	80	100%
			産直総売上(万円)	34,081	30,769	90%

## 浜田圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
浜田-3	西条柿産地再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霜害の影響も少なく、販売目標量は概ね達成できた。</li> <li>・「かん水施設等の基盤整備」「防風施設整備」については順調に進行している。</li> <li>・選果場・予冷库・加工場の一体整備について建設に向け協議を開始した。</li> <li>・サポート体制構築に向け先進地(出雲市)への視察をおこない、関係機関で課題及び目指す方向性を確認した。</li> <li>・各専門部会とも積極的な活動を開始した。</li> <li>・県内外市場関係者を招き、初めて産地ツアーを開催し、産地情報を直接発信した。</li> </ul>	西条柿販売量(t)	149	127	85%
			西条柿等販売額(千円) (生果・干し柿)	57,154	49,815	87%